

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1470800713
法人名	有限会社 山口商事
事業所名	グリーンペペ
訪問調査日	平成21年6月21日
評価確定日	平成21年7月3日
評価機関名	福祉サービス第三者評価機関しょうなん 株式会社フィールズ

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成 21年 6月 25日

【評価実施概要】

事業所番号	第1470800713号
法人名	有限会社 山口商事
事業所名	グリーンペペ
所在地	横浜市金沢区柳町26-15 (電話) 045-791-8612

評価機関名	福祉サービス第三者評価機関しょうなん株式会社フィールズ		
所在地	藤沢市鵜沼橋1-2-4 クゲヌマファースト3F		
訪問調査日	平成21年6月21日	評価確定日	平成21年7月3日

【情報提供票より】(平成 21年 5月 19日事務所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 9月 1日			
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6人	
職員数	2人	常勤 8人	非常勤 3人	常勤換算 3.0人

(2) 建物概要

建物構造	(木造)造り
	2階建ての 1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39000~59000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	500,000円	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要 (5月19日 現在)

利用者人数	4名	男性	名	女性	4名
要介護1	1名	要介護2	名		
要介護3	2名	要介護4	1名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 84.75 歳	最低	83 歳	最高	87 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	磯子中央・脳神経外科病院	中村整形外科	小笹医院
---------	--------------	--------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは既存の2階建ての民家を利用したホームのためバリアフリー化には制約がありますが、自宅のような家庭的な落ち着いた雰囲気があります。南向きのリビングからウッドデッキが続き、テーブルやイスが用意されお茶を飲んだり外気浴に利用しています。ホームの理念「その人らしく笑顔で過ごせる家」のもと、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けられるよう、人と人との繋がり大切さを意識しながら利用者本位のサービスに取り組んでいます。入居に際しては、本人が安心して利用できるように、体験利用や体験入居を通じて、既利用者と一緒にお茶や食事をしたり、ぬり絵やトランプ等のレクリエーション・散歩・入浴等を体験してもらい馴染みの関係作りをしています。重度化や終末期については本人・家族の要望があればホームで対処していく意向を持っています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価での主な改善課題は、運営推進会議の実施と災害対策としての飲料水の備蓄でした。飲料水の備蓄については実施されていますが、運営推進会議については実施まで至っていないので早期の開催が期待されます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 運営者、管理者、スタッフが参加し自己評価に取り組んでいます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は実施されていないので早期の開催が期待されます。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族の来訪時には対話に留意し、家族の意見、意向等を聞くようにしています。現在のところ、苦情や不満はありませんが、意見、要望、不満等があった場合には速やかに対処することとしています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会に加入し、地域の一員として各種の自治会行事に参加し、地域との交流、連携を図っています。また、地域との連携の一環として今年初めにハマハグに登録し、横浜市子育て応援事業にも協力しています。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者、スタッフが全員でつくりあげた事業所独自の理念を掲げ、実践しています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用時には必ず理念を説明し、理解を得ています。絶えず理念に基づき支援をするようにミーティングを通して確認し共有しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の夏祭り、盆踊り、餅つき、公園やゴミ置き場の清掃等、自治会行事に積極的に参加すると共に、「ハマハグ(子育て応援事業)」や「かなざわささえ隊」に登録し地域との交流、連携に努めています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を実施するにあたっては、評価の意義を説明し、話し合い、全員で自己評価に取り組んでいます。評価を振り返りの機会として前向きに捉えています。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の実施に向けて検討中です。		運営推進会議の早期開催が期待されます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政の担当窓口や市社協・区社協、「認知症サポーターの会」等と連携を取っています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	介護計画書、ホーム便り「グリーンペペ通信」と共に健康状態、金銭出納帳等を、頻繁に来所する家族には手渡して説明し、来所の少ない家族には毎月1回定期的に送付しています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内・外の苦情受付窓口を明記し、玄関ホール壁面に掲示しています。家族の来訪時には管理者が面談し家族の意向を聞くようにしています。家族からの不満や苦情はありませんが、あった場合は速やかに対処することになっています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職がある場合には早期の人員確保に努め、利用者の不安が起きないようにスムーズな交代が出来るように対処しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内研修計画を作成し、計画的に研修を行っています。また、外部研修にも参加し、研修記録を作成しています。外部研修参加時の受講料、交通費は支給され、勤務扱いとし、研修機会の確保に努めています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	横浜市グループホーム協議会の研修に参加し、同業他社との交流、情報交換をしています。また地域内の介護施設(有料老人ホーム、デイサービス等)との交流も行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用開始前には運営者や管理者が自宅に出向き馴染みの関係作りをすると共に、体験利用や体験入居を通して既入居者とも馴染みの関係作りをし、馴染んでもらえるようにしています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者は人生の先輩であるという認識を職員は共有しています。支援するという立場でなく、支えあいお互いに協働して日々の生活を送る関係作りをしています。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者が何かを行う時は言葉かけのほかに写真や物を提示し、視覚からも判断できるように支援しています。帰宅願望の強い方にもマンツーマンでじっくり向き合い、心の平穏を保ってもらえるよう努めています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族が面会の際、ゆっくりと話し合う時間を設け、家族の意向や要望を介護計画に反映させています。来所がむずかしい家族には電話や手紙で意見交換を行っています。介護計画書は郵送し、家族に記入・署名・捺印してもらっています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>基本は3ヶ月毎に計画の見直しを行っています。入院などでADL(日常生活動作)や状態に大きな変化があった場合は、ただちに見直しして現状に即した新たな計画を作成しています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療機関へ受診の際、家族の状況に合わせ、職員が送迎、付き添いを行っています。協力医療機関の看護師に相談をしたりアドバイスを受けるなど良好な関係を築いています。理容師の資格を持った職員が、利用者の希望に沿って髪の毛のカット、顔そりなどを行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の内科は月2回、整形外科は週1回、歯科は月1回の応診があります。現在は利用者全員、協力医療機関がかかりつけ医になっていますが、希望があれば他医療機関への受診にも対応しています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に終末期のあり方について書面で説明し、話し合っています。状態に変化があった場合もその都度話し合い、確認しています。必要があれば協力医療機関の医師も同席しアドバイスを受けています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録を取る場合、職員の立場ではなく利用者主体の表現方法になるよう徹底しています。言葉かけや対応に不適切な場面があった場合はその都度注意し、尊厳やプライバシーに対し意識を高く持つよう指導しています。不要になった書類はシュレッダー処理を行っています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴や食事の時間はある程度決まっていますが、その他は一人ひとりのペースに合わせています。常に利用者の希望を最優先するケアを心がけています。レクリエーションも複数用意し本人にどちらを行うか決めてもらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援						
	22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	週に一度、昼食は写真を使ったメニューの中から食べたい物を選んでもらっています。単調になりがちな食事時間にメリハリをつける工夫をしています。		
	23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯は決まっていますが、利用者の状況に合わせて臨機応変に対応しています。入浴拒否の強い方にも無理をせず対応を工夫して気持ちの変化を見極めながら支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援						
	24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の介護度が上がり、役割、楽しみごとなど出来ることが限られてきましたが、洗濯物たたみや調理などできる範囲で自分の役割と感じてもらえるよう支援しています。近隣で開催されたバザーに出品したお菓子の袋詰めを楽しみながら行いました。		
	25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は散歩、外気浴が日課になっています。職員とマンツーマンで出掛けています。散歩の途中コンビニに寄って買い物を楽しむこともあります。		
(4) 安心と安全を支える支援						
	26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間の施錠以外、日中は門、玄関、窓、すべて鍵はかけず、利用者の行動が制限されることはありません。		
	27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昨年の取り組み課題にあった備蓄に水が加えられました。リビングの飾り棚に転倒防止のストッパーを取り付けるなど改善に取り組んでいます。地域の防災訓練への参加も続けています。お隣の方や町内会長とコミュニケーションを図り災害時の協力をお願いしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
		栄養摂取や水分確保の支援			
28	77	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材納入業者がカロリーや栄養バランスを考慮した献立を作成しています。食事量のほか水分摂取も個別に記録しています。嚥下力に応じてトロミをつけたりミキサー食にしたりと個々に対応しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
		居心地のよい共用空間づくり			
29	81	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	民家改修型のホームの為、いろいろな制約はありますが、逆に在宅感は十分に感じられます。リビングには利用者手作りの紫陽花の貼り絵のカレンダーや紫陽花の切花が飾られており季節感を演出しています。天気の良い日にはリビングからウッドデッキに出て庭の樹木や草花を楽しむ季節を感じることができます。		
		居心地よく過ごせる居室の配慮			
30	83	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はすべて和室で、利用者にとって馴染みやすい雰囲気になっています。自宅で使用していたタンスや仏壇が持ち込まれていたり家族の写真が飾られていたりとその人らしい居室になっています。		

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グリーンペペ
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	横浜市
記入者名 (管理者)	宮島優子
記入日	平成 21年 5月 17日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「人間関係の深化」「居心地のよい家」という理念があります	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	一昨年のスタッフで「その人らしく笑顔で過ごせる家」という理念を再構築しましたがスタッフの入替わりがあったので「理念とは何か」を話合っています。	理念を日々の利用者さんとの時間の中で実践できるように取り組み続けていきたいです
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関に理念、スタッフ作成理念も掲示しています。また、パンフレットの中にも理念を入れて画像も変更し作り直しました	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	回覧板を利用者と一緒にまわしたり、ゴミ置き場やホームの周囲の掃除をしたり、お散歩時にすれ違う方に挨拶をしています。またハママグに登録しシールを門に貼り近隣の方や小さなお子さんのいらっしゃる方にも気軽に立ち寄っていただけるようアピールしています	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の夏祭り、盆踊り、餅つき、公園清掃に参加しています。また、もちまわりでゴミ置き場の掃除を、4月には近隣施設のバザーにも参加させていただきました	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	金沢区認知症サポーターに登録し会合等に参加しています		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価結果を活かし水分量等記録を細かく記入したり、記入者のサインを入れるようにしました		スタッフの入れ替わりがあったので今回の外部評価の結果を元に前向きに取り組みたいです
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にはまだ取り組んでいません		自治会長さんやご家族にも同意はいただいているので実施に向け動いています
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	認知症サポーターや区社協・市社協のあんしんセンター、区の高齢支援担当の方等との行き来はあります		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度の研修に参加しました。入居されてから成年後見人をつけられた方もいらっしゃいます		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待のパンフレットを常に意識できる掲示板に貼ってあります		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には契約書、重要事項等の読み上げをご家族と一緒に に行い、質問を受け付け書名捺印をいただいています</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付担当者、苦情解決担当者を設けており重要事項説明書に記載しています。利用者とはじっくり話す時間をとっており周知のため玄関にポスターも掲示しております</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族が来所された際にはゆっくりと話す時間をとっています。来所の難しいご家族には毎月ペペニュースというホーム便りと共に健康状態、金銭出納長(お小遣い)のコピー等報告の手紙を送付しています</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付担当者、苦情解決担当者を設けており重要事項説明書に記載しています。来所されたご家族とはじっくり話す時間をとっており周知のため玄関にポスターも掲示しております</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>申し送りノートやメモ・個人的なEメールを使い職員からの意見を聞くようにしておりミーティングには運営者も参加するようにしています</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者・ご家族の要望等で面会、通院、外出、外泊等がスムーズに行えるようスタッフと話し合いシフトの調整をしています</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>基本的に移動はなく、退職者があるときは早めの人員確保に努めています</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修を実施しています。また、かなふくセミナーやウィリングでの研修等をスタッフに案内し希望者や時間の都合のつくスタッフには研修に参加してもらっています		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	お散歩の途中で他事業所に顔を出させてもらったりバザーに参加させてもらったりしています。他区のグループホームや有料老人ホームと交流を持ち親睦をはかっています		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	各スタッフと話し合う時間をとるようにしています。また個人的なEメールを使い職員からの意見をきくように努めています		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修への参加、権限委譲等で向上心を持てるように努めています		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談があった場合受付表に記入、ファイルしスタッフ間での情報の共有化に努めています。入居までの間に1回はご本人と面談させていただきお話を聞かせていただいています。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談があった場合受付表に記入、ファイルしスタッフ間での情報の共有化に努めています。入居までの間に数回ご家族と面談させていただきお話をうかがっています。また担当のケアマネージャーさんやヘルパーさん、ケースワーカーさん等からも情報収集を行っています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	状況に応じアドバイスをさせていただいています。当ホームで対応が困難な場合等空き状況を確認したうえで他施設を紹介する場合があります		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験利用・体験入居で他利用者と一緒にお茶・食事・レク・散歩・入浴等その方に合った内容をさぐりながら少しづつ体験していただきゆっくりと馴染んでいただけるように支援しています		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に家事や散歩、レク等を行うことで喜び、楽しみを分かち合い、対話しながら信頼関係を築くようにしています。特に入浴は1対1でゆったりと時間のとれる時なので大事にしています		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会に来所された際にはゆっくりと話す時間を取るようしており、今何が本人に必要なかを一緒に考えています		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ふだんから家族の名前を会話の中に出したり、居室に家族の写真やアルバムを置いたりしています。また催し物がある時はご家族に声を掛け、都合のつくご家族には一緒に参加していただいています		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話や面会が可能な方には来所や電話をしていただいております。入院等された場合にもお知らせし病院へお見舞いに行っております。また年賀状や転居のお知らせ等なるべく本人に書いてもらい出すようにしています		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	仲の良い利用者同士で互いの居室を行き来する支援をしています。また外出・散歩・外気浴時等車イス利用の方の車イスを健脚な他利用者が押す等利用者同士の係わり合いを大事にしています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約が終了しても病院へ顔を出したり、必要なご家族へは電話やファックス、手紙、Eメール等で連絡をとっています		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	食材はデリバリーを使用していますが、週に1回、写真を使って食べたい物を聞きメニューに採用しています。衣類等の買い物も一緒に外出し、本人の意向に沿った買い物ができるよう支援しています		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族やケアマネージャーさん、ヘルパーさんから情報を収集したり日々の会話の中からの情報を個人ファイルに記録し、スタッフ間で情報の共有化に努めています		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの状態を把握し対応するため散歩・ぬりえ等のレクリエーションはマンツーマンを基本としています。それらを個人ファイルに記録し、スタッフ間で情報の共有化に努めています		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族が来所された際にはゆっくり話し合う時間をとるようにしています。来所の難しいご家族には毎月のペペニュースと一緒に手紙を同封したり電話等で意見交換を行いながら介護計画を作成しています		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本は3ヶ月ごとの介護計画の見直しを行っています。入院等変化があった場合はただちに見直しを行い現状に即した新たな計画を作成しています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人介護記録や業務日誌、申し送りノートを活用しスタッフ間の情報の共有化に努めています		
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	民家改修型を活かし庭の草むしり、草木の手入れ、家屋周りの掃き掃除、物置の整理、ゴミ置き場の清掃等を利用者と一緒に行っています		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	傾聴ボランティアさん、日舞ボランティアさん、フラダンスボランティアさん等に支援していただいています		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	昨年まではご家族の希望により訪問入浴、訪問マッサージを利用されていた方がいらっしゃいましたが現在は他のサービスの利用希望をされる方はいらっしゃいません		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括センターから入居希望の話はいただいておりますが協働とまではいっていません。権利擁護、成年後見制度の活用は進めています		運営推進会議には包括センターの方にも入っていただき協働していきたいと考えています
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の総合内科は月2回、整形外科からは週1回、歯科からは月1回往診していただいています。それ以外の病院への受診希望がある場合はご家族とスタッフの調整をはかり通院していただいています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医療機関の総合内科から月2回往診していただいています。その際可能な利用者は医師に状態を話したり、スタッフが相談にのってもらっています。また往診時にご都合のつくご家族さまには同席していただいています。往診の際医師に時間の余裕があると利用者とトランプや百人一首を一緒に楽しめることもあります		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力医療機関の看護職員には気軽に相談できる状態にあり、電話等でも相談を受け付けてもらっています		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	協力医療機関とは連携しており、特に看護職員とはこまめに連絡がとれる状態です。また、協力医療機関のケースワーカーさん等とも連絡をとり協働しています		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族と話し合い希望のあるご家族には特養の申し込みをしていただいています。また、協力医療機関の医師から必要であれば直接ご家族に話をさせていただいており、また訪問看護の利用の許可もいただいています。入居契約時に終末期のありかたについて書面で説明させていただいています		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	体調の良くない利用者のご家族には協力医療機関の医師が直接話をしてくださっており、スタッフにも細かい説明をして下さるのでそれらを記録しスタッフ間で情報の共有化をはかっています		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	居室に空きがある場合は体験入居を、空きのない場合は他入居者と一緒にお茶・食事・レク・散歩・入浴等を体験していただき、担当のケアマネージャーさん、サービス提供責任者、ヘルパーさん、ご家族とその方に合った内容をさぐりながら少しずつ体験していただきゆっくりと馴染んでいただけるように支援しています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>記録に不適切な表現が使用されていた場合書き直しを指示する、言葉かけに不適切な事があった場合、個別に話をする等意識を高く持つようスタッフに指導しています。また、ビデオ等を使用し所内研修を行っています</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>食材はデリバリーを使用していますが、週に1回、写真を使って食べたい物を聞きメニューに採用する、衣類を決めかねる場合二者択一で選んでいただく、買い物をされた際はご自分で財布から支払いをしていただく等自己決定の場面を多く作るようにしています</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入浴や食事の時間は決まっていますが他の時間の決まりはなく各人のペースを大切にできるよう支援しています</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>個々の入居者に合わせマニキュアやファンデーション、口紅等を揃え対応しています。理美容は元理容師を採用し本人、ご家族の希望に合わせカット、顔剃り等行っています</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食材はデリバリーの物を使っていますが、毎週木曜日の昼食はレクリエーションを兼ねて写真を使ったレストランのメニューのような物から選んでいただき食事を楽しんでいただく支援をしています。また、可能な方には調理や後片付けをしていただいています</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>おやつはご家族が持っていらっしゃることが多いです。現在お酒やたばこを嗜まれる方はいらっしゃいませんがお散歩の途中でコンビニでお菓子や飲み物を買ったりして好みの物を楽しめる支援をしています</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレ誘導の必要な方には時間や様子を見計らって声掛け、誘導、見守りをし、スタッフ全員が情報を共有化できるように記入表を使用しています必要な方には居室にポータブルトイレを設置し使用していただいています		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯は決まっていますが、強い入浴拒否のある場合等はムリをせず順番を変えたり再度の声掛けを通し本人の意向に沿うように支援しています		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	就寝される時間に差があるので遅い時間にやすまれる方数名でトランプやカルタをを楽しんだり居室でテレビを見ていただいたりしています。また、本人の意向に添って昼寝をしていただいたり、リビングと居室を快適に使い分けできるよう支援しています		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理、編物、掃除、洗濯物たたみ等できることをやっていたき、それが役割だと感じていただけるよう支援しています。また、近隣のバザーに出品する物を作ったり等楽しいと感じられることを継続できる生活の支援をしています		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お散歩の途中でコンビニに寄ったりスーパーでの買い物の際本人にお財布を持っていただき、その中からお金を出し支払いができるよう支援しています		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、外気浴は天気の良い日は日課となっています。その途中でコンビニに寄る要望がある時はコンビニに入っています。衣類や日用品の買い物はスタッフと一緒にスーパーへ出掛けています		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外食、旅行、法事等個別あるいは家族との外出を支援しています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の要望に応じて電話や手紙、年賀状や季節の挨拶等なるべくご自分でしていただけるよう支援しています		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族や馴染みの方にホーム便り(ペペニュース)をお送りして来所を促しています。入院された場合も連絡しお見舞いに来ていただけるよう声掛をさせていただいています		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	意識を高く持てるように横浜市のパフレットを常に掲示してあります。また、研修を行い身体拘束をしないケアに取り組んでいます		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜の戸締り以外は玄関の鍵を掛けることはせず鍵をかけないケアに取り組んでいます		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室に入れていただく際はロック！をスタッフ統一しています。日中はリビングに必ずスタッフが1名入り見守りをしています		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	今までの生活歴を活かしながら各利用者さんに応じて化粧品、造花、写真、仏壇、裁縫箱等居室に置いてもらっています		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	歩行の不安定な方の立ち歩きにはスタッフが手引き歩行や見守りを行っています。服薬の際はスタッフ同士で確認してから飲み終えるまで見守っています。リビングには必ずスタッフが入るようにし事故防止に取り組んでいます。またスタッフにリスクマネジメントの研修に参加してもらい情報を共有化をはかっています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時の対応マニュアルを用意しています。業務日誌や申し送りノートと同じ場所にマニュアルを置きいつでも確認できるように努めています		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の防災訓練に参加しています。またお隣の方・町内会長さんなどと常にコミュニケーションをはかっており有事の際の協力もお願いしてあります		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居契約時、家族会、面会等ご家族が来所された際には色々なことを話し合っています。毎月のホーム便り(ペペニュース)と一緒に手紙を同封しケアプランやリスクについてご家族と対応策を話し合っています		
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	重度化にならないように早期発見を心掛けて申し送りを徹底しています。変化に気付いた際には協力医療機関に連絡し指示を受けています		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	「ペペのお薬辞典」を作成しスタッフ全員が把握できるようにしています。また、各個人のファイルに処方された薬の説明書を入れていつでも確認できるようになっています		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	乳製品や繊維質水分の摂取を心掛けており、運動のため散歩を日課にしています。便秘のひどい方には医師から薬を処方してもらっています		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	職員が見守りながらマンツーマンで歯磨きをしています。ご自身での歯磨きが難しい方はスタッフが対応しています。夜間は入れ歯を預かりスタッフが手入れをしてから消毒・保管しています。また定期的に歯科往診をしていただいております口腔内の清潔保持に努めています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスは専門の方が作成したメニューを使用しています。必ずスタッフが一緒に食事を摂っているので摂取量や水分量は把握しており記録しています。嚥下の悪い方にはとろみやミキサー食で、自力摂取の難しい方には介助をする等個々に対応しています		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザは毎年予防接種を行っています。区の感染症対策の研修に参加し、ノロウイルス対策の準備もしてあります。他感染症に対してはマニュアルを作りスタッフに周知してもらっておりキッチン・トイレ前・玄関に手指消毒用のアルコールを設置・使用しています。また来所者の方にも使用をお願いしています		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	手洗い・消毒の励行、まな板の使い分けやハイターを使い衛生管理をしています。食材は宅配業者に委託し毎食新しい物を使用しています		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	門には手作りのトルペイントの表札をかけておりウッドデッキにはお隣の方に作っていただいたベンチを設置しています。定期的にボランティアさんに植木の剪定をしていただき環境維持に努めています。またハママグに登録し小さいお子さんのいらっしゃる方にも気軽に入っていただけるよう門や玄関にシールやポスターを掲示しています		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	民家改修型のホームなので自宅に居るような雰囲気は十分にあると思います。また玄関には鑑賞できる水槽・花等を置き、トイレには日めくりを掛け庭には植木や花があり生活感や季節感を味わっていただけるよう努めています		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席、ソファを使っています。また希望のある方には外のウッドデッキに出たり、仲の良い利用者さんを居室に招き一緒に過ごすことも支援しています		

項目		(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている		今まで使っていたタンスや仏壇・鏡台等を置いてもらっています。布団やベットも使い慣れた物を持ち込んでもらっています。また本人・家族と相談し定期的に居室の様様替えや障子の張替え等をしていっしょの方もおられます
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている		リビングの扉を外しているので空気の流れや外気温との差は少ないと思います。清掃時・オムツ交換時等には必ず換気をしています
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している		各所に手摺りを配置しています。必要な方には居室内にも新しく手摺りを配置したりポータブルトイレを置く等しています。階段昇降機も設置してあります
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している		塗り絵、漢字計算ドリル、食事の支度、掃除、縫い物、洗濯物たたみ等、各人に合わせた役割を持ってもらうようにしています
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている		ウッドデッキを配置し、イス・テーブルを利用している。散歩に出掛けない方はそこで日光浴や花を愛でたりしていっしょにいます。また外回りを散歩したり掃き掃除やゴミ置き場の清掃をスタッフと一緒にしており建物外の空間もうまくつかうように努めています

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、活き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

定員6名なのでスタッフと利用者が近く、民家改修型の施設なのでアットホームです。畳の入れ替えや庭木の剪定等スタッフの知人やボランティアの方にしていただき来所の際には必ず利用者に声をかけてもらうように努めています。ゆったりとすごしていただくため食事と入浴の時間は決まっていますが他は特に決まったことは設定していません。一人一人の生活暦や幼少期の思い出を引き出せるように、また、会話のはしばしに過去の楽しかったことを思い出していただけるように、その人らしく笑顔で過ごせるよう日々支援しています